

フォータッチバレーボール競技規則

(4タッチバレーボール)

1 競技規則

津市体育指導委員会制定競技規則(平成22年度)

2 施設と用具

1)コート

・コートは、バドミントンのダブルスコートを使用する。

2)ネット及び支柱

・ネットは、ソフトバレーボール用ネットを使用する。

・ネットの高さは、2mとする。

3)ボール

・使用球は、日本バレーボール協会認定のソフトバレーボールを使用する。

3 競技者

1)チームの構成

・チームは、キャプテンを含む4人の競技者と、4人以内の交代競技者で構成される。

・競技中は、女性がコート上に2人以上参加していること。

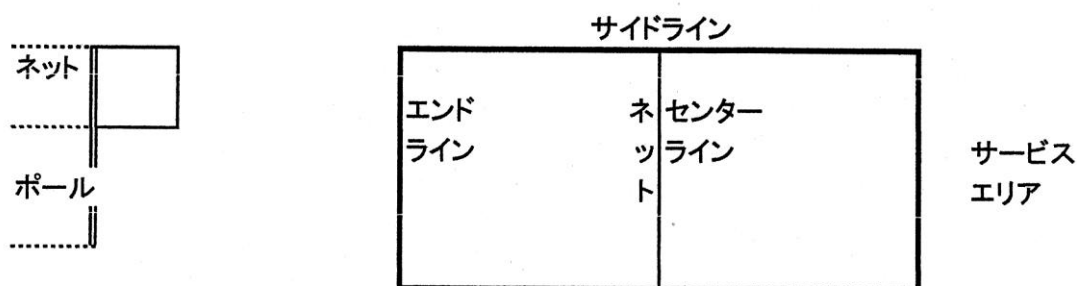
4 試合の準備と進行

1)位置

・サービスが打たれる瞬間に両チームは、前衛2人、後衛2人並んで各自のコート内に位置しなければならない。

2)ローテーション

・サービス権を得たチームは、直ちに時計の針と同じ方向へ競技者の位置を一つずつ移動する。



3)競技者の交代

・監督又は、主将は、プレーがデットのとき主審又は、副審に交代のタイムアウトを要求することができる。

・チームは、1セットにつき2回を限度として競技者の交代がゆるされる。

4)休息のタイムアウト

・監督又は、主将はプレーがデットのとき主審又は副審に休息のタイムアウトを1セットに1回要求することができる。

・タイムアウトの長さは30秒とする。

5)キャプテンのトス及びコートの交替

・第1セットは両キャプテンのトスでサービス権またはコート of のいずれか一つを選ぶ。

第2セット及び第3セットはチェンジコートを行う。

5 得点・セット数及び勝敗

- ・試合は1セット15点先取のラリーポイント制、ジュースなしとする。
 - ・2セット先取の3セットマッチとする。
- ※大会の運営上セットを時間制にする場合もあります。

6 プレー上の動作と反則

1) サービス

- ・サービスは片手のアンダーハンドとする。(腰より下)
- ・サービスは1回とする(ネットに触れて相手コートに入った時はアウトとなる)
- ・サーバーはボールを打つ瞬間は両足をエンドライン後方に置きかつ、サイドライン想像延長線を踏み越してはならない。
- ・サーバーが主審の吹笛前にサービスを行った場合はそのサービスを取り消されやり直しとする。
- ・サーバーは主審の吹笛後5秒以内にサービスを行わなくてはならない。

2) ボールへの接触

- ・チーム全員が一度はボールにタッチし、4回で相手側コートへ返さなければならない。
- ・打ち方はボールを持ったり握ったような打ち方はホールディングとなる。
- ・ボールは身体の中のどの部分にヒットしてもよい。

3) アタックヒット

- ・アタックヒットは認められない。
- (アタックヒットとはボールを打ったその角度で決定する。※水平より下がった場合)

4) センターラインはなしとする。

5) タッチネット

- ・タッチネットはボールをプレーする動作が直接的あるいは間接的に行われた場合のみ反則となる。
- (返球に成功し、相手方コートの床面にボールが接触し、デットになった後でもネットに触れれば反則となる)

6) ブロック

- ・ブロックをした時点でアウトとなる。

7) その他の反則

- ・コートアウト
- ・オーバーネット
- ・ドリブル

平成22年8月5日制定